

令和 8 年度当初予算案主要事項(令和 7 年度 2 月補正含む)説明

健康福祉部

事業名	発達障害者支援体制整備事業費		新規・ 継続の別	継続（一部新規）		
	予 算 額	107,890千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
			35,600	-	36,690	35,600
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	1 趣 旨 発達障害児・者への切れ目のない支援の実現に向け、医療、保健、福祉等の関連分野が連携して一貫した支援を実施					
	2 事業内容					
		事業名	内 容	予 算 額 (千円)		
		子どもの心の診療 ネットワークの構築 【再掲】	専門医療機関と地域の医療機関との連携による診療体制の構築により、発達障害児の初診待機期間短縮を図るため、ネットワークの拠点となる府立医科大学に専従医師等を配置 ・府内診療体制の調査、分析 ・医療連携パスの開発 ・早期支援モデル事業の実施 (心理士による保育士等を対象とした研修の実施や手引きの作成) 等	28,000		
	人材の育成・確保	専門医療機関における医療提供体制の充実及び各種研修事業の実施による人材育成等	17,490			
	相談支援の実施	発達障害者支援センター「はばたき」、圏域支援センター及び「発達障害児支援拠点」における相談支援の実施	62,400			
担当課 ・ 担当名	障害者支援課 福祉サービス・障害児支援係		課・担当 電話番号	075-414-4633		

令和8年度当初予算案

令和7年度2月補正予算案 (国補正予算分)



(1) 安心できる健康・医療・福祉の充実

子どもの心の診療ネットワーク事業費

2千万円規模

発達障害児の診療体制再構築と早期支援の充実により、初診待機期間を短縮

府立医大に専従医師を継続的に配置するとともに
心理士を常勤化し、発達障害児を早期支援できる仕組みづくりを実施

☆心理士による保育士等に対する研修(発達障害児への支援方法等)を実施
☆発達障害児への支援方法や医療の役割を示した手引きを作成

R9年度中に初診待機期間の短縮を目指す(最大9ヵ月⇒約1ヵ月)

新 高齢者施設等利用者支援事業費

経済対策

2.0億円規模

高齢者施設等における食事会などの行事実施を支援し、利用者負担を軽減

新 介護現場業務効率化促進事業費

経済対策

1千万円規模

ケアプランの受け渡しのデジタル化を推進することで、介護事業所の事務負担を軽減